

◆ 編集後記 ◆

2年間の長きに亘り、「広報・監察部」の担当副会長の任を大過なく終えることが出来、ほっとすると同時に、この間を支えて下さった、石神部長をはじめ、大嶋副部長、そして斉藤さん、藤田さんに心より感謝申し上げます。

2年間を振り返ってみますと、「行政いばらき」の編集、校正、校了に追われる2年間だったように思われます。併せて、年2回発刊致します「季のきらめき」の取材先の選定、行政へのアプローチ、現地取材など、あっという間の2年間でした。

素晴らしい部員の皆様に支えられ、共に楽しい時間を過ごす事が出来たこと、私の行政書士人生の素晴らしい1ページとなりました。心より感謝申し上げますと共に、今後とも「行政いばらき」が行政書士にとって、タイムリーな情報を流せる情報誌として、益々発展して行かれる事を、切に願うものです。

本当に、2年間有難う御座いました。

(広報・監察部 担当副会長 郡司 孝夫)

「ふりつもるみ雪にたへていろかへぬ 松ぞを、しき人もかくあれ」

(昭和天皇御製)

新型コロナ感染症が全世界に蔓延した時期を振り返ると、前代未聞の事態にいつ終わるともわからず、ただ通り過ぎるのを息をひそめて待っていた日々もありました。その中でも、やがて各方面で知恵を絞って新たな方策転換への模索が始まりました。

この疫病が5類に移行した今、やっと色々な動きが復活し、ようやく春が来たように感じます。まだ手放しで安心できるものではなく様々な課題山積とはいえど、確実に次のステージに移っていくのでしょうか。

まさに皆様が耐えたこの2年間、「行政いばらき」発行に微力を尽くした広報部への温かいご支援及びご教示を賜りましたこと、部一同、感謝の気持ちに堪えません。ご愛読いただき心より御礼申し上げます。

(広報・監察部 部長 石神 敦子)

人は年齢を重ねると時間の経過が速く感じると言われていますが、私にとって広報・監察部に所属したこの2年間は、新鮮な感動の連続で大変充実した長い2年間でした。

広報誌「行政いばらき」と情報誌「季のきらめき」が多くの人達の知恵と技とアイデアが結集して創られていることを身をもって実感できました。

また、県内各地の取材活動を通じて、茨城県の魅力を再発見できました。

部会も皆さんと多岐に亘る話題で盛り上がり、本当に楽しいひとときでした！

大変お世話になり、ありがとうございました。

(広報・監察部 副部長 大嶋 薫)

昨年の6月から広報・監察部の専門委員として約1年間広報活動に参加させていただき、沢山の貴重な経験をさせていただきました。

広報活動にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(広報・監察部 専門委員 齊藤 強)

広報監察部員となり、あっという間に1年が経ちました。

期の途中からの参加でしたが、右も左も分からず、緊張して出席した最初の部会で、広報監察部の皆様に温かく迎えていただき、今では、部会に向かうのが楽しみとなりました。

ここで学び、経験させていただいたすべてのことは、私の財産です。

ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

(広報・監察部 専門委員 藤田 佳奈)

